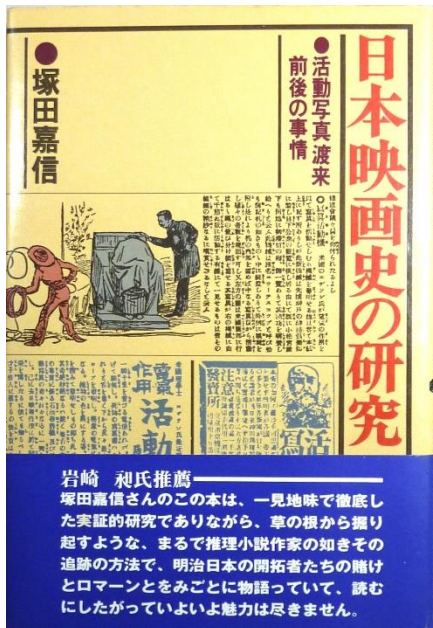


「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績」開催のお知らせ



左：『日本映画史の研究』書影 右：塚田嘉信

いつもお世話になっております。このたび、国立映画アーカイブは、研究イベント「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績」を開催する運びとなりました。塚田嘉信（つかだよしのぶ、1929-1995）は、日本映画史の研究に高度な実証研究の扉を開いた映画史家です。公刊された書籍は『日本映画史の研究』（1980年）のみでしたが、膨大な映画史資料の収集をベースにした研究成果は『映画史料発掘』（1970～1989年）ほか私家版の冊子で盛んに公表され、その緻密きわまる分析は多くの研究家が依拠するところとなりました。

しかし1995年の急逝によりその研究は中断され、またその資料コレクションも長くバールに包まれていましたが、それから20年以上を経た2018年にご遺族からご寄贈のお申し出をいただいた当館は、これら資料の整理作業を進めることとなりました。また、2020～2022年度の科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）「塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読み直す」においては、同資料の調査、目録化、デジタル化等を目的とする3年間のプロジェクトに取り組んできました。同研究が最終年度の終わりを迎えるにあたって開催される本イベントは、同コレクションの内容と意義を紹介するとともに、それを媒介にした研究成果を発表する貴重な機会となるでしょう。

《 企画概要 》

日時：2023年3月18日（土） 1:30pm～5:00pm（1:00pm開場）

会場：国立映画アーカイブ 小ホール（地下1階）

定員：151名（事前申込制、自由席）※申込は、当館HPにて2月24日（金）4:00pmより開始

料金：無料 HP：https://www.nfaj.go.jp/exhibition/event_2023_03/

主催：国立映画アーカイブ、東京国立近代美術館、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（c）「塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読み直す」（研究代表者・入江良郎）

協力：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（c）「明治末期から戦中期までの映画に描かれた／描かれなかった天皇・皇族の表象」（研究代表者・紙屋牧子）

つきましては、ぜひとも本イベントについてご紹介をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

※ご参加を希望される場合はご連絡ください。確保に努めますが、満席などで確保できない場合はご了承ください。

※プログラム詳細を次頁に掲載しています。

【本件に関するお問い合わせ】
国立映画アーカイブ 広報担当

電話：03-3561-0823/FAX：03-3561-0830/E-mail：pr@nfaj.go.jp

「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績」
プログラム

【イントロダクション】

1:30pm～1:35pm

研究プロジェクト「塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読み直す」について
入江良郎（研究代表者、国立映画アーカイブ主任研究員／東京国立近代美術館主任研究員）

1:35pm～1:45pm

発表「よみがえる塚田嘉信コレクション—資料の受け入れと今後の活用」
岡田秀則（国立映画アーカイブ主任研究員／東京国立近代美術館主任研究員）

【塚田嘉信の功績】

1:50pm～2:50pm

基調講演「塚田嘉信氏旧蔵資料に就いて」 本地陽彦（日本映画史研究家）

<休憩>

3:05pm～3:25pm

発表「塚田嘉信旧蔵（創刊号を中心とした）雑誌コレクション調査報告」
佐崎順昭（国立映画アーカイブ客員研究員）

【塚田嘉信コレクションを用いた研究発表】

3:30pm～3:50pm

発表「映画を二番目にみた女性皇族—初期映画と皇室の関わり」
紙屋牧子（玉川大学芸術学部非常勤講師）

3:55pm～4:15pm

発表「『南極探検活動写真』（1912）関連資料の同定研究—『活動写真機械及フィルム定価表』（1912）に見る最古の長篇記録映画」
大傍正規（国立映画アーカイブ主任研究員／東京国立近代美術館主任研究員）

4:20pm～4:40pm

発表「『北清事変活動写真』と『新製活動写真』—最古の映画商社・吉澤商店における映画製作の起源」 入江良郎



左：国立映画アーカイブ外観 右：小ホール内観